

基礎看護学演習

[演習] 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○花岡 真佐子(非) [hanaoka@hoku-iryo-u.ac.jp]
明野 伸次 [akeno@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

看護実践とは、看護概念の現実化に向けて看護者が目的意識的に働きかける過程である。本講では、健康問題を抱える対象者に対する看護師の判断-行為過程に焦点をあて、看護実践に内在する科学的側面と倫理的側面を探究する。

【学修目標】

1. 看護師の判断-行為過程に関して自らの考えを説明できる。
2. 実務経験または臨地実習の事例をもとに看護実践の科学的側面を説明できる。
3. 実務経験または臨地実習の事例をもとに看護実践の倫理的側面を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	授業のすすめ方 1. 看護師の判断-行為過程(1)	ゼミナール形式で文献講読ディスカッションを進める。 『能力と発達と学習』をもとに労働の能力、社会的能力、認識の能力、感応・表現の能力を検討する。	花岡 明野
3) 4	1. 看護師の判断-行為過程(2)	『能力と発達と学習』をもとに労働の能力、社会的能力、認識の能力、感応・表現の能力を検討する。	花岡 明野
5) 6	2. 看護実践の構造的理解(1)	関連文献をもとに「看護」「実践」「能力」「看護実践」の用語を検討する。	花岡 明野
7) 8	2. 看護実践の構造的理解(2)	関連文献をもとに「看護」「実践」「能力」「看護実践」の用語を検討する。	花岡 明野
9) 10	2. 看護実践の構造的理解(3)	実務経験または臨地実習の事例をもとに看護実践を構造的に検討する。	花岡 明野
11) 12	2. 看護実践の構造的理解(4)	実務経験または臨地実習の事例をもとに看護実践の科学的側面と倫理的側面を検討する。	花岡 明野
13) 14	2. 看護実践の構造的理解(5)	実務経験または臨地実習の事例をもとに看護実践の科学的側面と倫理的側面を検討する。	花岡 明野
15	まとめ	看護学の学術集会に参加し、看護実践の科学的側面と倫理的側面を探究する。	花岡 明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、討議への参加(30%)、課題レポート(40%)を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

勝田守一著：能力と発達と学習、国土社、1990。

P.ベナー他/早野ZITO真佐子訳：ベナー看護実践における専門性 達人になるための思考と行動、医学書院、2015。

Hesook Suzie Kim/上鶴重美監訳:看護学における理論思考の本質、日本看護協会出版会、2003 .
その他、参考文献は随時に提示する。

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。